

ようこそ タカラ産業株式会社 へ

2021年5月27日

代表取締役社長 渡邊哲史

タカラ産業ってどんな会社？

タカラ産業は1960年に富士市で創業しました(当時は『中央製機有限会社』と言いました)。

タカラ産業は製造業に属しています。材料を買って、それを加工して、商品にして売っています。主に鉄から商品をつくります。工場では、鉄を切ったり(プレスなど)、はったり(溶接)、色を付けたり(塗装)、組み立てたりという加工をしています。材料がどんどん形を変えて、商品になっていきます。

タカラ産業では、自社開発商品であるスベアタイヤキャリアやアオリバランサー、タカラポストといったトラック部品などをつくっています。

たった50人くらいの小さな会社ですが、日本中の普通トラック(積載量4トン以上のトラック)の半数以上に何らかのタカラ産業商品が使われています。また、タカラ産業商品は外国で使われることもあります。

1. 『仕事』とは？

タカラ産業ではものをつくって売っています。学校の先生は勉強を教えてください。言い換えると、ことを売っています。ものを売ったりことを売ったりしてお客様からお金をもらうことを『商売』と言います。

そして、商売の場で自分がやるべきことをやって給料をもらうことを『仕事』と言えそうです。世の中にはたくさんの商売があり、仕事の形も色々です。

様々な仕事がありますが、仕事をしている人たちはみんなとても偉いんです。立派なんです。

なぜなら、学校では100点もあれば50点もあり0点もありますが、仕事では100点しかないからです。

お客様は、100点のものだったら喜んで買ってくれますが、80点のものや50点のものは買ってくれません。例えば、200万円の自動車の製造工程でブレーキを付けるのを忘れちゃったとしましょう。「ブレーキがないから160万円でいいです」と言っても買ってもらえません。買ってもらえないものは0点です。

だからいつも100点を目指して仕事をしているのです。

2. 社会での100点って不思議

不良がたくさん出ると出て行くお金が多くなり、またお客様は買ってくれなくなり、お金が不足して会社はつぶれてしまいます。

だから社会に出たら100点を出し続けなければならないのですが、そう言うときごく大変のように感じませんか。しかし案外そうでもないのです。なぜなら職場には100点を出すための仕組みがあるからです。ちゃんとやれば100点を出し続けられるように工夫しているからです(例えば、手順が決められていたり、治具があったりします)。

ところが、100点はいつまでも100点ではないというもどかしさもあります。というのは、ライバル会社が類似商品をより安く発売したら、今までより短時間で安くつくれるように更に工夫しなければなりません。

また、すごくよく売れる商品でも、ずっと同じだったらそのうちに売れ行きは下がります。だからまた次の100点商品になるようにモデルチェンジをしたり、新しい商品を考えなければなりません。社会での100点って簡単でもあり、とても複雑で難しくもあります。

3. 『働く』とは？

仕事をするを『働く』と言ったりもします。

『働く』って「はたを楽にする」に似ていませんか。つまり、周りを楽にすることです。

そう考えると、『仕事』とは、お客様だったり、一緒に仕事をしている人たちを喜ばせることとも言えそうです。

社会に出て仕事をする、ひとりではたいしたことはできないことに気がきます。一緒に働いてくれる仲間と働き、材料を売ってくれる人や持って来てくれる人と働き、加工を手伝ってくれる外注さんと働き、商品を買ってきてくれる人と働いて、そして自分が扱った商品がお客様の役に立つことができるのです。

色々な人の働きによって自分は仕事ができ、一方自分の働きは色々な人に影響しているのです。

4. おじさんからのお願い

皆さんもおとなになったら仕事をします。働きます。仕事を始めたら、100点をとれるようにがんばらなければなりません。しっかり働いて、お客様や周りの人の役に立たなければなりません。

人間は好きなことにはいっしょけんめいになれる。大変なことでも、楽しく取り組みます。楽しんでいっしょけんめいやっていけば、100点を取りやすくなりますし、次の100点もつくりやすくなります。だから、好きな仕事につく方がいいと思います。

今は学校での勉強や運動が大変かもしれませんが、しかしそれは、いい学校に入ったり有名な会社に入ったりするためのものではありません。将来いっしょけんめい仕事をして周りの人の役に立つための準備です。

おとなになったらどんな仕事をしたいのか、自分がいっしょけんめいになれる好きな仕事って何なのか、ときどき考えてみてください。

そんなことを考えると、学校の勉強や運動も楽しくなってくるかもしれません。そして、何をもっと学ぶべきか方向が見えてくるかもしれません。

日本ってすごい！ 日本のものづくりはスゴイ！

おじさんは外国での就業経験があります。外国で生活していると日本のものづくり(製造業のことを親しみをこめてこう言ったりします)の素晴らしさを肌で感じます。

外国では「不良であっても売ればよい。買った人の責任」という考えがあったりします。だからちゃんとした仕事ができず、品質も低いのです。お客様の満足度も低かったりするのです。

いくつか例を示します。

- ・セロテープ：日本のセロテープは引っ張るのをやめると止まります
- ・扇風機：日本の扇風機は音が静かです
- ・コンセント：日本では曲がってくっついていません
- ・階段：日本では段差がピッタリ均一です